

令和５年度 第２回 運営推進会議 議事録

令和５年 ３月 ２２日（金）１６：３０～１７：３０

出席：ご利用者様 ３名

ご利用者様ご家族 １名

民生児童委員様 １名

可児市役所 介護保険課 介護事業所係より１名

可児市帷子地域包括支援センターより１名

レッツ倶楽部にしかに スタッフ ２名

計 ９ 名

○運営推進会議 議題

- （１） 職員勤務状況
- （２） ご利用者様の状況報告
- （３） サービスの状況報告（サービス内容、事故・ヒヤリハット、職員研修）
- （４） ご利用者様の意向の確認や意見交換
- （５） その他

○運営推進会議 内容

- ・出席者自己紹介
- ・サービス内容、利用状況、ヒヤリハット・苦情等報告

利用者様状況やサービス状況、ヒヤリハット・苦情など、レッツ倶楽部にしかにの運営状況を施設長より報告。

- ・意見交換

利用者様に普段の利用の感想、ご家族様からの感想等話していただいた後、民生児童委員様、市役所介護保険課介護事業所係様、包括支援センター様より意見をいただく。

○会議にて出た課題や意見など

ご利用者様より

- ・隙を探そうと思ったが隙が無い。
- ・他所と比べても職員が団結していて、安心して利用させてもらっている。
- ・地域の方と交流し社会との関わりを持つことに楽しみを持てるようになった。
- ・マシンを利用し効率の良い運営をしていて感心した。他所は半分くらい話を一生懸命リハビリをやっている雰囲気ではなく効率よくやっていないと思う。
- ・パーキンソン病を患っており特に足や腰を鍛えたくて利用している。プログラムが決ま

っていて皆が同じように平均してやっているのは良いが、個別に足腰を鍛えるような時間を取れたら良い。残念だと思う。

- ・利用してまだ５ヶ月くらいで初めての経験が多い。今まではスポーツジムに通っており沢山の機械はあったけど使い方や効果がわからなかった。レッツでは使い方や効果がわかり理論的にできていて良い。

- ・スタッフが明るい方ばかりで来る楽しみが増えた。

- ・病名がわからず主人が怒りや悶々とした気持ちばかりだったが、夏ごろ病名がわかり周囲のいろんな人達に助けられてきました。週に１度通所するようになり帰ってくると楽しかったと言います。施設での出来事を話し夫婦の会話が増えました。（ご家族様）

民生児童委員様より

- ・利用者様の前向きな姿勢に感心する。

- ・利用者様が自分のペースに合わせて目標を持って頑張っているらしい。

- ・会話が増えたことは家族にとってとても良いことだと思う。

- ・自分のやりたいことが素直に発せられることが良いところだと思う。

- ・自分もやりたいくらい。

- ・他の会議にも出席しているが、レッツ倶楽部が一番明るい、来て良かった。パワーをもらえる。

可児市役 介護保険課 介護事業所係様より

- ・外出をして普段見えない部分が見えた事について、なるほどと思った。報告しようと思う。

可児市帷子地域包括支援センター様より

- ・外出イベントが施設内ではわからない移動動作や判断能力などに気づくことを認識できた。計画書を作る側としてそのような情報はありがたい。

- ・レッツ倶楽部に通所している９０代の方が自分の特技を引き出してくれるような会話をしてくれて嬉しい。アットホームさを感じるとお話しされていた。

次回、令和６年９月開催予定